

しんらん同人

No.569

7・8

月号

浄土真宗本願寺派 誓願寺

〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8

【電話】03-3950-7828 【ホームページ】<http://www.seiganji-tokyo.jp/>

のがれられない

この暑さ

暑さから

味を見いだす

夏のたのしさ



われもひかりのうちにあり

誓願寺住職 古賀尚之

「兵戈無用」（ひょうがむよう）大無量寿経の中で、お釈迦様が悪をいさめ、信を勧められるところで語られた言葉。不殺生・殺すなかれという意味です。

昭和二十年十月・終戦直後満州から日本に引き揚げてくる途中、中国安東市で生まれた私にとって戦争の記憶はありませんが、小学生の頃までZエスで放送されていました「中国残留孤児の肉親捜し」と、母の「あなたもこうなっていたかもしれない」の一言が忘れられない思い出です。

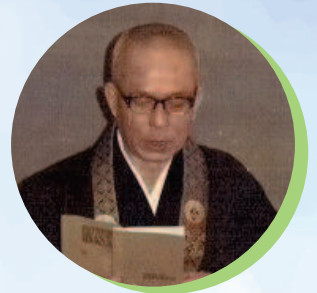
武器をもって人が人を傷つけ殺しあうのは、人間の最も愚かしい行いでありながら、なぜ絶えることがないのでしようか。

自分、家族、地域、国家、民族それぞれにどのような価値観と正義があるのでしょうか。命と心豊かに生きることの深淵さに今また戸惑う私であります。

だから「われもひかりのうちにあり」なのです。

合掌





誓願寺初代住職
故 岡本 泰雄

宿業しゆくごう

種から芽が出るには太陽の光、土、水分、肥料その他様々な要素が必要です。種自身では芽を出すことは出来ません。

その周囲からの働きかけを縁と言います。光、土、水分、その他の要素はすべて縁です。

種という因が縁に会うと、両者が和合して芽という果を生じます。

しかし、縁で結ばれた親子の関係でも実際問題となるとなかなか素直に受け止められません。

親が思い通りに生みたいと願ってもそうはいきませんし、生みたくないと思っても生まれることもあります。

親が子を産むのは生むべき縁があったからで、人間として生まれ出る因は自身にあります。

だから立派な両親から世を毒する人が生まれることもありますし、その日暮らしの親から世界的な貢献をする人が生まれることもあります。親の良し悪しで子供の将来が決まるというわけではありません。

歎異抄・第十三条の親鸞聖人のお言葉「わが心の良くて殺さぬにはあらず。また害せじと思うとも百人千人を殺すこともあるべし」は、心は自分でどうにでもなると思うのが一般的なようですが、それは立派な心を持っているからではなく、何事も縁次第ということを教えて下さったのです。

かつて世界大戦でユダヤ人をたくさん殺した人がいました。戦後の

裁判で処刑されましたが、捕虜収容所長なんかになると、そうせざるを得なかったのでしょう。憎らしいから殺したのではありません。

最近ある雑誌に次のような戦争体験が掲載されていました。

「それは八月二十二日。敵の攻撃が一休みした時私は壕から身を乗り出して軽機関銃で数名の敵兵を撃ちました。もんどりうって倒れる兵士に何の感情も沸き起こりませんでした。相手を殺さなければ自分が殺される、だから撃つたのです。

弾が当たってよかったという安堵の念だけでした。仮に私の目の前に敵国の非戦闘員がいたらどうするのでしょうか。戦争にあっては人を殺すことは悪でなく誉れです。戦闘員・非戦闘員の区別なく無差別に殺傷する。しかもそのことになんの痛みも感じなくなる。そこに戦争のむごたらしさがあります。」

この人は戦争は罪悪であると強調しますが、人類が生まれてよりこのかた数々の戦争が繰り返されてきたのは事実であり、そこにまた業縁の恐ろしさが痛切に感じられます。

戦争だけではありません。人間の宿命的な業として、もっと些細な事柄が私達の周りには常に繰り返り広げられています。

ある女性が早朝、よその牛乳箱について手を出して捕まりました。取り調べに対して「私が飲もうとしたのではありません。乳が出なくて嬰兒がかわいそうだから、何気なく手が出してしまいました。」と涙ながらに答えました。

聞けば本当に気の毒なことです。だが盗んだのは事実ですから法は曲げられません。家では赤ちゃんが泣いている。乳を飲ませてやりたいと、思わず手が出してしまった牛乳。

この人ならずともそういう立場にあれば、悪いと知りつつ手が出てしまうでしょう。人間の犯す罪は、どこでどうなるか分からないものです。

歎異抄の第十三条に「さるべき業縁のもよおせば、いかなる振る舞いもすべしとこそ聖人はおほせさふらいしに・・・」とありますように、縁に会うとどんなことをしでかすか分かりません。

しっかりやっている、それが出来ないのは意志が弱いからだ。意志さえしっかりしていればどんなことでもやれる「なせば成る、なさねば成らぬ何事も、成らぬは人のなさぬなりけり」子供の頃よく聞いた言葉ですが、実に立派な反面、誠に恐ろしい言葉であります。

ところが現実にはならぬことが多いのです。なさないのではなく、なすことが出来ない場合があるのです。

だからこの言葉通りにやれる人は偉いと思いますが、そういう気持ちで身を謹んでいく、努力することも大切ではないでしょうか。

しかし、必ず出来るというのは思い上がりです。いわんや人間の問題で言えば、お母さんが牛乳を盗んだ、けしからんと責めます。事情を聴けば盗まずにはおれなかった、泣き叫ぶ赤ちゃんに飲ませたかった、これも親心です。

だが世の中は前者を許しません。法律で決まっているから盗みは罪だと責めます。

そう思うと誰かが間違いをしたという時にただ一途に、けしからん、頑張らなければ駄目だなどと厳しい批判をするのはいかがなものでしょうか。

そうせざるを得なかった可哀想な事だという場合もあります。

時にはその悪い事だけを取り上げて人を責めたくりますが、そうせざるを得なかった宿業の深さを悲しんであげる気持ちも欲しいのです。

間違っていく人も沢山います。他人だけではありません、私自身も間違うことがしばしばありますが、やはりその人自身が背負った業があるため、そうせざるを得なくなってしまうます。

だから、親鸞聖人は「害せじとおもふとも、百人・千人殺すこともあるべし」殺してはならぬと思いつつも、百人・千人殺すことが起こるかもしれないと申されるのです。

「我がが心のよきをばよしとおもひ、悪しきことをば悪しと思いて、願の不思議にてたすけたもふということを知らざることを、おほせさふらいしなり・・・」ここが一番大事なところです。

「自分の心が善い悪いというだけでなく、これは善いことだと思つたらやれば出来る、悪いことならせずに済むと勝手に解釈して、本願の不思議でおたすけにあずかるということに気が付かぬ。如来の本願で救われるのは自分の心が善いからだと思っているが、それは間違いであつて、自分の事でさえどうすることも出来ないのだから、自分の力で如来を信じて助かるのではなく、信ずる心も如来の方からお与え下さる・働きかけて下さるから、私が本願を信じ念仏申す身とさせていただけなのだ」と味合わせねばならぬ。」と聖人は仰せられます。

私たちのご先祖は、ご両親をはじめ多くの人々が過去お念仏を喜んでいたに違いありません。その何百年もの念仏のながれの中で育てられたご先祖があればこそ、いまこうして法縁に合わせていただいたのです。

自分が努力したから、しっかりやっているからではありません。大きな力がお育て下さったおかげで、ようやくここまで生かされていたのです。

良いと思つたから出来た、悪いと思つたから止めた、そんな心で本願に会うのではありません。

如来の深い願いが働いて下さっているからこそ、善いも悪いも気づかせてもらい、念仏申す身とさせていただいたことを思わねばならぬ。と親鸞聖人は申されるのです。

ご法座等 のご案内

関東地方にコロナによる緊急事態宣言が発令されている期間は、諸活動を中止致します。ただし蔓延防止期間中は活動の予定です。詳細は「ホームページ」等でご確認ください。

7月

7・10
(日)

■午前十時～

定例法座・孟蘭盆会

【森島順英師(熊本県)】

■正午～

医療相談

【佐藤公彦医師】

7・17
(日)

■午前十時～

なかよしクラブ

(乳幼児から小学生までとその保護者)

7・24
(日)

■午後一時～

定例法座・祥月命日合同法要

【小池秀章師(京都府)】

8月

8・14
(日)

■午前十時～

定例法座・孟蘭盆会

【上野隆平師(京都府)】

8・21
(日)

■午前十時～

なかよしクラブ

(乳幼児から小学生までとその保護者)

8・28
(日)

■午後一時～

定例法座・祥月命日合同法要

【利井唯明師(大阪府)】

編集後記



・観測史上最速と言われる梅雨明け宣言。次に待ち構えるのは、記録的な猛暑です。電力供給が逼迫している状況ですが、体調管理においては無理をせずに生活しましょう。

・ウクライナに端を発する様々な影響が、身近な物事に対してじわじわと出てきています。他人事ではなく自分事として考えましょう。

・昨年末から常住人員が三名から七名に増えたお寺の中で、一番働きに働いていてきた洗濯機がついにダウンしそうです。今度ばかりは、ご苦勞様でしたありがとうございます。私たちが身体も休養とメンテナンスが大切です。



〔谷川岳(群馬県)にて〕



〔渡辺幸司師とお同行の集合写真(6/26撮影)〕